

養殖アカモク生産量の増大技術を確立 (海洋センター)

増産が期待される海藻「アカモク」について、大型水槽を用いて面積当たりの種苗生産性を向上し、生産した種苗の効率的な定植間隔を明らかにするとともに、生産に適した海域を特定しました。年間で約10,000千円の生産が可能となります。

背景	京都府では全国初のアカモク種苗生産技術を確立している。近年、健康食材としてさらに需要が伸びているアカモクについて、さらなる生産量の増大及び供給安定化が漁業者（260経営体）や流通関係者から求められていた。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖に用いるアカモク種苗の大量生産及びコスト削減技術の確立 ・養殖場所の拡大 ・単位養殖面積あたりの生産量の増大

大型水槽を用いた種苗生産の効率化

光条件を把握し最適な飼育密度を解明！

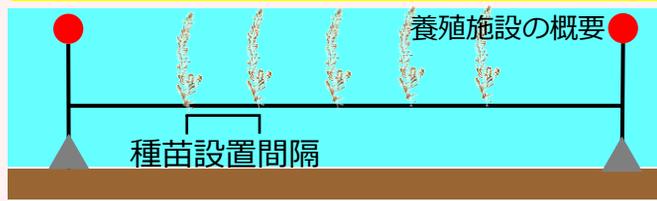


種苗1万個生産時（対100ℓ水槽比）

- ◎施設面積・・・約**60%減**
- ◎種苗生産費・・・約**40%減**

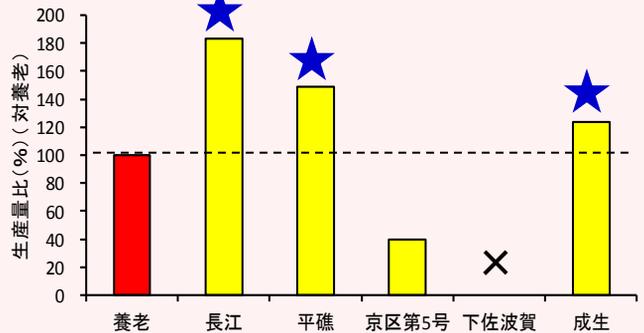
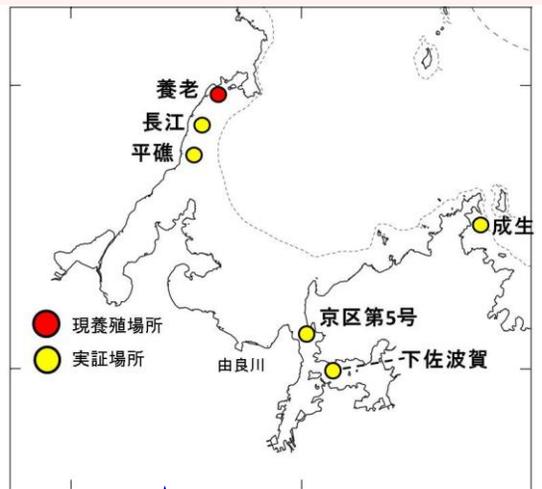
種苗の密植で収穫量up！

面積や作業の仕方を変えずに最適な養殖密度を解明！



- ◎施設と施設の間隔
現状 10 m→5 m・・・生産量約**2倍**
- ◎種苗設置間隔
現状 20 cm→10 cm・・・生産量約**1.5倍**

新たな養殖場所の開拓



5海域中3海域で養殖が可能

研究成果

- ・1,000ℓ水槽を用いた種苗生産技術により、量産化とコスト削減を実現
- ・新規養殖場所を加えた養殖面積は現状の約6倍、高密度化で単位面積当たり生産量は約3倍 ⇒ 年間約43t, 10,000千円の生産が可能（平成28年度実績 約5t, 約1,000千円）

■現状

H27 1.0t, 301千円 (単価 250~300円/kg)
H28 5.1t, 985千円 (単価 150~250円/kg)
H29 2.4t

■養殖面積拡大後

H29実績2.4t × 養殖面積6倍 × 単位面積当たり3倍 = 43,000kg
43,000kg × 250円/kg = 10,750千円

今後の展開

養殖生産量の拡大に必要な種苗を供給し、新たな京都の特産品「丹後あかもく」の生産・販売に寄与します。